

令和6年5月定例記者会見要旨

開催日時 令和6年5月24日（金）午前10時30分 302会議室

（総務部長） それではただいまより5月の定例記者会見を開始します。 よろしく申し上げます。

（市長） 皆さんこんにちは。年度がスタートいたしまして、2ヶ月が経過いたしました。今日の記者会見は、様々なイベントについて皆様に取材や報道をしていただきありがとうございます。ゴールデンウィークの観光動向についてから、ご報告させていただきたいと思います。数字は、こちらで概略を申し上げさせていただきたいと思いますが、連休が4月21日から5月6日で行われました。前半と後半に、中3日ほど平日が入りまして、二つに分けられた感じの連休となっております。観光課の集計結果が出ましたので申し上げたいと思います。上諏訪温泉、諏訪湖、本年度10日間ですが23万6,746人、高島城が5,243人、間欠泉センターは4,507人という経過でございます。昨年は9日間でありましたので、プラスですが、1日当たりの入り込み客数の比較といたしましても上諏訪温泉、諏訪湖においては、前年対比102.5%、高島城が125.7%と上昇し、間欠泉センターは、94.1%で若干落ちていているということでございます。

また、霧ヶ峰の自然保護センターが対前年160%であったということも聞こえてきております。お天気も、今年は大変良いこともありまして、多くの皆様に来ていただけたと思っております。また、サイクリングロードが全線開通したことも、話題性として影響していたのではないかと思っております。

いずれにいたしましても、コロナ感染症が5類に移行して丸1年というタイミングで、着実に皆さんの出足が戻ってきているという感触を受けておりまして、大変うれしく思っております。

続きまして、昨日すでに皆様のお手元にプレスリリースをさせていただいた件について一言コメントさせていただきます。

危機管理室で初めての試みとして、諏訪市の職員に対して、情報伝達安否確認のための非常参集訓練を行いました。19日の日曜日、朝5時、大きな地震が発生したという想定で、災害対策本部に参集すべきメンバーが、30分以内にどのくらい、1時間以内に何%参集できるか、（正規）職員の安否確認がどのくらい取れたかという訓練を実施し、その結果が出ました。1時間以内に、参集すべき職員、本部員管理職等ですが、79.7%が対策本部である、市役所3階に参集できました。それから安否確認について、全職員対象に行いましたが、これは91.6%が安否確認を取ることができました。これは初めての訓練ですが、地震は予告なく発生します。実際の地震ではなかったのですがこれだけの数字が出ましたが、いざ自宅が被災したり、道路が寸断されたりしていた場合には、このようにはいきませんが、こうした訓練の実績を積んでいることによりまして、災害が実際に起こったときに、ある程度の予測や想定をしながら、対策本部の運営を始め、早くスタートできるということをねらっております。

それでは次に、資料をご覧ください。諏訪市の音声サービス「きけるよ！」がスタートしておりますのでご紹介したいと思います。視覚的に情報を取得することが難しいお客様など、説明等を音で聞きたいというような方々がいらっしゃいます。そのテキストデータを素早く簡単に音にする音声合成サービスというのがございます。VOXXといいます。これを令和6年の当初予算に計上いたしまして、新たな情報発信手段として、運用を始めております。紙面だけでは伝えることが難しい情報ですとか、紙面に掲載しきれない情報を音声にして、視覚障がいのある方とか、ご高齢の方あるいは外国人の方など、これは翻訳機能もありますので、そうした皆様に、音でも情報をお届けできるというものであります。この度、この音声サービスがありますということをお知らせする目印として、諏訪市音声サービス「きけるよ！」マークというのを作成いたしました。この矢印の横にあります。これが諏訪市音声サービス「きけるよ！」

のマークです。この横にありますQRコード、これをスマートフォンですとか、端末のカメラで読み込んでいただくことによって、ご利用いただけるというものであります。現在までの活用事例の一部をご紹介しますが、今後、様々な説明資料ですとか、お知らせなどに順次拡大して、より情報を伝わりやすく、サービスを充実してまいりたいと思っております。今日は、このパソコンを使って、デモンストレーションをし、どんなふうに聞けるのか、皆様に聞いていただきたいと思います。

こんなふうに聞こえます。ぜひ皆さんにも知っていただきたいと思います。ご紹介申し上げました。

次の話題ですが、令和6年度の市政懇談会「ゆかり市長とまちかどトーク」を開催いたします。すでに出張トークはスタートしておりますが、会場を設けまして皆さんにお越しいただく従来型の市長との懇談会ということで、皆様にペーパーでお示しいたしましたとおり、令和6年6月21日をスタートといたしまして、6回企画いたしました。磨けば輝く透明度日本一の高原湖畔都市を実現するために、本市が行う重要施策を市民の皆さんに知っていただいて、そして市民の声を市政に反映していくということを目的として開催するものです。6月21日から4公民館、そして最後、諏訪市文化センターの第1集会室で、昼の部と夜の部、2回開催いたします。24日の最終日の昼の部ですが、託児所がセットされますので、ご希望の方は、6月14日までに申し込みをしていただきたいと思います。それから7月24日の2回に関しましては、要約筆記によるスクリーンへの映し出しと、市の公式YouTubeチャンネルでのオンライン配信が行われます。そして、今年のメインテーマは、令和6年度の主要事業に掲げました三つの項目について、まず私から説明を簡単に申し上げたいと思っております。災害に強いまちづくり、子育て支援、教育が充実したまち、そして暮らしに配慮した新しいまちづくりの三つであります。事前にこれらの主要テーマ、或いは地区の課題に関する質問をながの電子申請で受け付けまして、私が当日、より丁寧な回答ができるようにいたします。

日頃感じていることなど、多くの皆様にお集まりいただいて意見交換ができたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。そして、デジタル改革を進めておりまして、チラシの方に、主要事業に関する質問の事前受付用QRコードを示させていただきました。どうぞ、多くの皆さんにお集まりいただきますように、お待ちしております。

続きまして、6月の行事日程ですが、当市は、働き方改革ということでゆう活事業を進めてまいりました。今年で7年目になります。昨年までは、7月から9月のゆう活、早めに登庁して、早めに退庁するという、こうした時間のシフトですが、多くの職員が利用しており、本庁のみならず、保育園の保育士など、なかなか取得が難しいのではないかと考えていた職員も、職場内で工夫をして、取り組みが拡大してきております。本年は、少し期間を延長いたしまして、6月から10月の5ヶ月間で実施することになりました。

お手元に配布をいたしました主な行事日程です。

（6月の日程説明等）

○諏訪湖祭湖上花火大会 大抽選会 501会議室

6月7日（金） 午後1時

○諏訪市消防団ポンプ操法大会 西山運動場

6月9日（日） 午前8時

○諏訪地区消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会 激励会

6月14日（金） 午後7時

- すわっ子会バスツアー 出発式 市役所駐車場
6月15日(土) 午前5時45分
- 諏訪市防災会議及び国民保護協議会 大会議室
6月18日(火) 午後1時
- 第13回諏訪市地域公共交通活性化協議会 大会議室
6月19日(水) 午後1時
- スワコエイトピークスミドルトライアスロン大会2024 下諏訪ローイングパークほか
6月23日(日) 午前7時15分
- 日本赤十字社諏訪市地区・分区協賛委員会 大会議室
6月24日(月) 午後7時
- 令和6年度上田諏訪連絡道路建設促進期成同盟会 総会 丸子文化会館セレスホール
6月26日(水) 午後1時30分

添付いたしました教育委員会関係の6月行事予定表と加えまして、市内各地でいろんな取り組みがスタートしております。ぜひまた取材をお願い申し上げます。

記者との質疑応答

(記者) 先日の市議会全員協議会で、市文化センター実施設計、費用を盛り込んだ補正予算案を、6月定例会に提出されるというお話を伺いましたが、改めて提出されるにあたっての思いをお聞かせいただきたいです。

(市長) 文化センターの改修は、平成26年に登録有形文化財として指定をした時からの課題で、かれこれ10年を迎えております。その間、いろいろな準備作業をしたり、必要な取りまとめを行ったり、文化庁や関連する皆さんとの連携をはかりながら、進めてまいりました。昨年、いろいろご指摘をいただきましたが、議会からもお認めをいただいて、基本設計業務を進めさせていただいてまいり、この3月末で完了いたしました。金額も基本設計の最後に提示されました39億4,000万円、これは決して少ない数字ではありませんので、市民の皆様や議員の皆様からも、ご質問をいただきました。これについて、また課題とする音響、反響板のこと、緞帳のこと、これらは継続して、新たな実施設計の中でも、さらに煮詰めていくということに、ご理解をいただきました。そして、骨格となります文化センターを避難所として十分安心できるものにする。今の状態では厳しいですから、これをしっかり作ること、そして、市民の集う場所としての機能を充実させる。それから多くの会議室を増やしたり、交流スペースを充実したり、エレベーターを作ったり、鍵を作ったり本当にたくさんのバージョンアップのメニューを用意いたしましたので、これらについては、概ね市民の皆様からも、議会の皆様からも、この方向でよしというご了解をいただいたというまとめでございます。課題を継承するものを含めまして、実施設計に移っていく段階にきたという判断をいたしました。従いまして、6月の補正予算を提示いたしまして、今年度実施設計に向かっていきたいということです。予算額につきましては、議会に送付させていただく議案のとおりです。

(記者) 先ほども市長のお話の中にあつたのですが、情報伝達訓練でこちらの結果を拝見したところ、登庁できていない職員が18.6%で、安否確認が取れない職員が8.4%という結果でしたが、この結果についての受けとめと、この状況を改善するために、どうされるかというお考えをお願いします。

(市長) 私といたしましては、登庁できない職員すべての理由を把握しているわけではありま

せんが、諏訪市内にいない人もいます。親戚のお宅へ行っていたりとか、旅行に出かけていたりとかいろいろな活動をしていますから、そうした方は、登庁できないことがあります。それから安否確認が取れないというのは、例えば電話に気がつかなかったとか、携帯を持っていたも、朝5時ですから、見ていないとか、そういうことであつたと思います。そしてこの訓練は、抜き打ちです。私も副市長も、いつやるかを知らされておりましたので、うっかりすると、連絡の取れない人になり得た可能性もあります。ですから、予告した訓練には100%を目指すべきだと思いますけれども、この訓練は、地震はいつ来るかわからないわけですから、本当に起こったときに、どの程度の参集率が見込めるかということを想定する、平常時の時に大体何%ぐらいの人が連絡をとれるのだろうかとか、集まれるのだろうかということの基礎的な資料の一つになるだろうという、そういう心持ちであります。そういうことで、100%を目指すものということではなくて、現状を知るためのトライアルであつたと思います。能登半島の地震の時は、なかなか対策本部を立ち上げることができなかったという課題があり、我々も共有させていただいているところでありまして、例えば道路が寸断されていて、1時間以内には到着できない人もいるでしょうし、或いは自宅が壊れてしまつて、参集できないとか、ご自身もけがをしてしまつて、参集できないというようなことも起こってくるということを想定しています。ということで、この数字については、予告なしで、休日の早朝5時に訓練をした時にこういう結果が得られたということで、この結果を大切にしたいと思っている次第です。

（記者）文化センターの関係ですが、先ほど議案書をいただいたので、確認させていただきたいのですが、文化センター改修事業費として4,700万円あまりを計上していると思うのですが、実施設計がこの委託料として4,596万円ですか。

（副市長）詳細は教育委員会の方へ取材をいただきたいと思います。実施設計の金額プラスこれから改修後の運営をどういう組み立てでやっていくかということを検討する組織を早急に作り上げる準備をしております。そこに関する費用も含んでおります。

（記者）その報償費とか旅費とかというのは検討組織のお金ですよね。

（副市長）はい。そういうことです。

（記者）委託料としては4,596万円という数字は。

（副市長）それが実施設計を業者へ委託をする、その金額になります。

（記者）それで反響板の設置の関係で、音響調査をやるという方針が示されたと思いますが、この関係の予算というのは今回計上しなかったということですか。

（副市長）その委託料の中に入っています。これは、専門の業者に依頼をして、残響時間をデータとして提出していただき、果たして反響板の設置などに1億円を超える費用をかける価値があるかどうか、その費用対効果を分析した上で、私どもで最終的な判断をしていく、そのための調査費用もそこに入っております。

（記者）先ほど反響板のお話ですが、データとして、実験して得るというだけなのか、例えば音楽関係者を呼んで、これでいいかというような、何かそういった調べというのはされるのでしょうか。

（副市長）実際に文化センターのホールを使って実地で音を出してということではできませんので、理論上の残響音、残響時間を計算式で出していただき、そのデータに基づいて判断をします。当然判断をする前段として、私どもも担当部局と、主にそういったリクエストをいただいている音楽関係者の皆さんとも、情報共有をした上で、私どもとして最終的に判断をする、そんな運びで考えています。

（記者）抜き打ちの訓練ですけれども、お二人とも、時間、1時間以内に来られたでしょうか。

（市長）はい。1時間以内に滑り込んでおります。

（副市長）はい。40分ほどです。

（記者）文化センターのその実施設計を出される、議会に上程されるということで、基本設計について改めて市民や議会の理解を得られたというふうにご認識されているということでしょうか。

（市長）基本設計について、おおかたのご理解を得られたという認識のもとで、実施設計の予算を上程させていただきます。そして、まだいろいろなご意見をお持ちの方たちがいらっしゃいますことも承知しております。皆様の、これを進めていく過程における不安や、質問疑問等に対しましては、丁寧に対応していきたいと思っています。

（記者）わかりました。ありがとうございます。

それでは以上をもちまして5月の定例記者会見を終了します。どうもありがとうございました。